

# 中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和4年度第4四半期（令和5年1月～3月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：29社 建設業：20社 小売業：43社 サービス業：58社）

## DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

## \*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

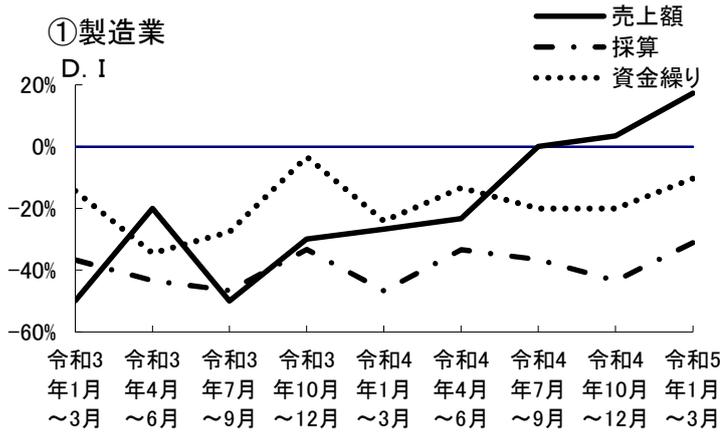
## 1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	令和3年 1～3月期	 ▲ 39.3	 ▲ 20.0	 ▲ 53.7	 ▲ 34.5	 ▲ 36.9					
令和3年 4～6月期	 ▲ 40.0	 ▲ 25.0	 ▲ 51.2	 ▲ 28.1	 ▲ 36.1						
令和3年 7～9月期	 ▲ 43.3	 0.0	 ▲ 42.9	 ▲ 43.1	 ▲ 32.3						
令和3年 10～12月期	 ▲ 33.3	 ▲ 15.0	 ▲ 57.2	 ▲ 39.7	 ▲ 36.3						
令和4年 1～3月期	 ▲ 51.8	 ▲ 30.0	 ▲ 66.7	 ▲ 53.4	 ▲ 50.5						
令和4年 4～6月期	 ▲ 13.3	 ▲ 25.0	 ▲ 51.2	 ▲ 21.4	 ▲ 27.7						
令和4年 7～9月期	 ▲ 13.4	 ▲ 10.0	 ▲ 57.1	 ▲ 22.8	 ▲ 25.8						
令和4年 10～12月期	 ▲ 23.3	 ▲ 5.0	 ▲ 45.2	 ▲ 29.3	 ▲ 25.7						
令和5年 1～3月期	 ▲ 10.4	 ▲ 35.0	 ▲ 39.5	 ▲ 22.4	 ▲ 26.8						
令和5年 4～6月期	 3.4	 ▲ 20.0	 ▲ 46.5	 ▲ 19.0	 ▲ 20.5						

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

## 2.業種別景気動向

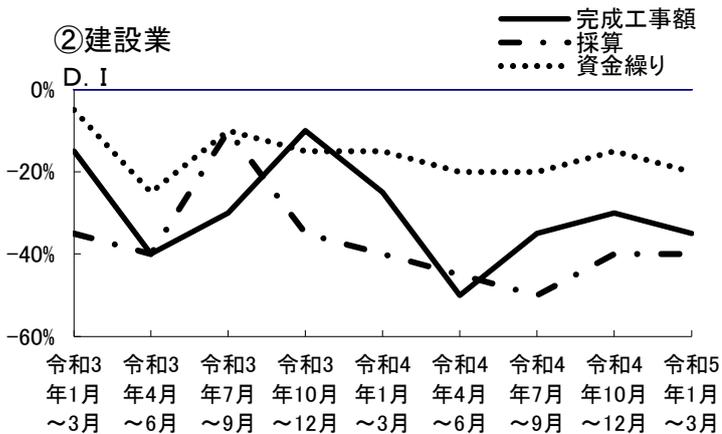


〈前期比〉

売上額 : 好転 ( 3.4→ 17.3 ポイント)  
 採算 : 好転 (▲43.4→▲31.1 ポイント)  
 資金繰り : やや好転 (▲20.0→▲10.3 ポイント)

〈経営上の問題点〉 (順位と比率)

1位 : 原材料価格の上昇 (40.7%)  
 2位 : 需要の停滞 (14.8%)

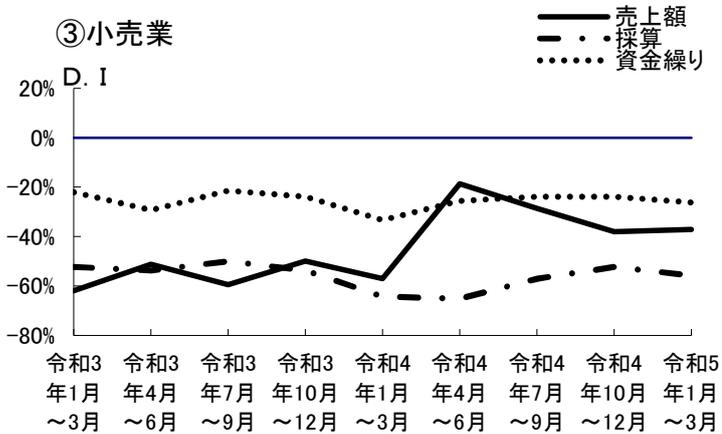


〈前期比〉

完成工事額 : やや悪化 (▲30.0→▲35.0 ポイント)  
 採算 : 横ばい (▲40.0→▲40.0 ポイント)  
 資金繰り : やや悪化 (▲15.0→▲20.0 ポイント)

〈経営上の問題点〉 (順位と比率)

1位 : 材料価格の上昇 (68.4%)  
 2位 : 従業員の確保難、熟練技術者の確保難 (10.5%)

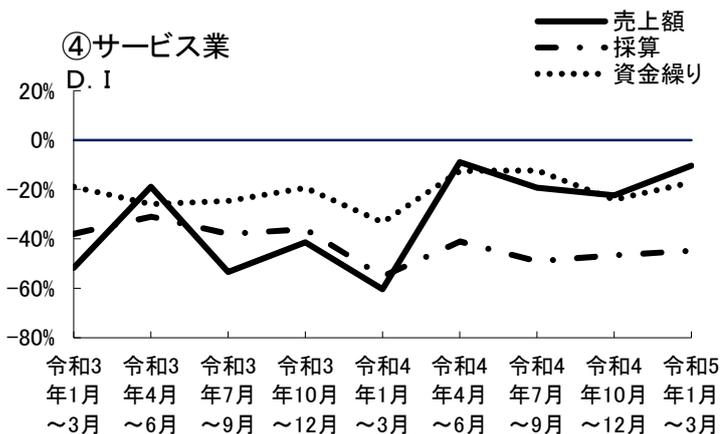


〈前期比〉

売上額 : ほぼ横ばい (▲38.1→▲37.2 ポイント)  
 採算 : やや悪化 (▲52.3→▲55.8 ポイント)  
 資金繰り : やや悪化 (▲23.8→▲26.2 ポイント)

〈経営上の問題点〉 (順位と比率)

1位 : 仕入単価の上昇 (23.8%)  
 2位 : 購買力の他地域への流出 (21.4%)



〈前期比〉

売上額 : 好転 (▲22.4→▲10.4 ポイント)  
 採算 : やや好転 (▲46.6→▲44.8 ポイント)  
 資金繰り : やや好転 (▲24.1→▲17.2 ポイント)

〈経営上の問題点〉 (順位と比率)

1位 : 材料等仕入単価の上昇 (44.4%)  
 2位 : 人件費の増加 (9.3%)